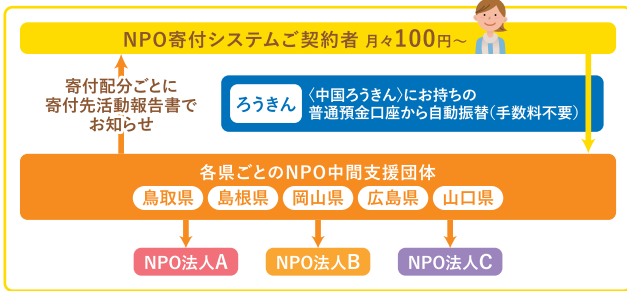




# 100円からできるボランティア NPO寄付システム

## NPO寄付システムのしくみ

みなさまの普通預金口座から一定期間ごとにNPOへの寄付金を自動引落としする制度。19の活動分野におまかせコースを加えた20コースから寄付先分野をご選択いただけます。



## ●各県の寄付金配分状況

2018年度	応募団体数	寄付団体数	寄付金額合計
鳥取県	12団体	12団体	60万円
島根県	53団体	28団体	165万円
岡山県	2団体	2団体	10万円
広島県	19団体	3団体	15万円
山口県	25団体	9団体	45万円
合計	111団体	54団体	295万円

## ●これまでの寄付金実績

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
寄付団体数	53団体	52団体	50団体	51団体	54団体
寄付額	335万円	325万円	320万円	320万円	295万円

## ●年度別・活動分野別配分額

分野	2017年度	2018年度	分野	2017年度	2018年度
① 保健・医療・福祉	80万円	50万円	⑪ 子どもの健全育成	105万円	100万円
② 社会教育	5万円	15万円	⑫ 情報化社会	0円	0円
③ まちづくり	20万円	5万円	⑬ 科学技術	0円	0円
④ 文化・スポーツ	35万円	30万円	⑭ 経済活動	0円	5万円
⑤ 環境保全	30万円	10万円	⑮ 職業訓練・雇用	5万円	10万円
⑥ 災害救援	0円	10万円	⑯ 消費者保護	0円	5万円
⑦ 地域安全	5万円	0円	⑰ NPO支援	5万円	20万円
⑧ 人権・平和	10万円	10万円	⑱ 観光振興	5万円	0円
⑨ 国際協力	15万円	5万円	⑲ 農山漁村・中山間地域振興	0円	15万円
⑩ 男女共同参画	0円	5万円	⑳ おまかせコース	0円	0円

## 緊急(災害救援)寄付配分団体による活動報告

2018年度は「災害支援緊急配分」を実施しました。  
(島根県:2団体、広島県:1団体)

### 島根県 NPO法人 さくらおろち

平成30年7月豪雨災害時に、江津市で救援活動を行いました。被災地家屋(江津市金田町)の片付けや清掃、江の川の氾濫によって流入した土砂で埋まった排水路等の土砂撤去や田畑に流入した流木の撤去も行いました。寄付金は、活動場所への交通費や車両(軽トラ)の借上げ料に使用しました。

### 島根県 認定NPO法人 自然再生センター

平成30年8月、豪雨災害の避難所となっていた広島県安芸郡の小屋浦小学校体育館を活動場所として、救援活動を実施。避難所の清掃、段ボールベッドの普及啓発や作製、被災者への傾聴活動などを行いました。寄付金は、兵庫県立大学学生へのお茶の差し入れ、避難所での喫茶コーナー開設、被災地へのガソリン代などに使用しました。

### 広島県 NPO法人 グリーンラインを愛する会

昨年7月の豪雨では、本会が環境保全・改善活動を行う県道251号線(通称グリーンライン)や接続する市道も甚大な被害を被り、一時孤立しました。本会では、2次災害防止のための通行止め実施や応急復旧作業、沿線の環境回復事業を10月頃まで実施しました。この他にも、福山市山野町での復旧作業支援や呉地区で活動するボランティアへ飲料の提供などを行いました。



### 鳥取県 2016年度災害支援緊急配分

#### NPO法人 あゆみ

当団体では災害でお困りの方々への支援などを行っております。2016年の熊本地震の際は、3日間にわたり温かいみそ汁やパンケーキ1,000食を提供いたしました。被災された方の疲労感が強く、食事よりも甘いものが喜ばれました。

### 山口県 2013年度災害支援緊急配分

#### NPO法人 NPOあとう(あとう観光協会)

2013年7月28日に発生し山口県内全域に被害をもたらした豪雨災害時に、復旧作業や地域の復興支援を行う活動を実施いたしました。人員を派遣して復旧作業を行った他、水害による風評被害対策活動にも寄付金を活用いたしました。